

タマネギ

管内の生産状況（平成29年）

栽培面積	1,241ha
出荷量	35,415t
生産者戸数	163戸



栽培品種の特徴

北はやて2号

早生品種であり、8月中旬～9月上旬頃まで出荷します。もともと辛味が少なく生食向きのタマネギで、貯蔵性はありませんが、多目的に使うことができます。

パレットペア

早生品種で、8月中旬～9月上旬まで出荷します。辛味が少なく、サラダなどの生食に適しており、球形は豊円球です。

オホーツク222

早生品種オホーツク1号の改良型で、規格外品の発生が少なく玉揃い・球色ともに優れた品種です。辛味が少なく貯蔵性・食味ともに良好です。

北もみじ2000

早生品種のオホーツクと中晩生品種のスーパー北もみじの中間に位置する中晩生品種です。晩生品種ですが、きわめて貯蔵性が高く、球形は地球型です。

スーパー北もみじ

球の締まりがよく煮崩れしません。シチュー・カレーなど煮物には最適です。また、一番の特性としては日持ちが抜群に良く、ご家庭でも特に長くご使用いただけます。



生産・出荷の取組み

JA管内は、道内有数の産地です。F1種のタマネギを生産しており、全国33カ所の市場や量販店に向けて、8月～翌年4月までの長期間出荷を行っています。

また、減農薬栽培タマネギの生産・組織化を進めるとともに、栽培技術の確立に努めており、道の認証制度である「YES! clean」を取得して生産しているものもあります。

また、生産者には栽培履歴・GAPの記帳・提出を義務付け、肥料・農薬の適正使用のチェックを行っています。



出荷荷姿

北はやて2号
20kg詰めダンボール

パレットベア
20kg詰めダンボール

オホーツク222
20kg詰めダンボール

北もみじ2000
20kg詰めダンボール

スーパー北もみじ
20kg詰めダンボール

「F1」種

「F1」とは、「一代雑種」や「交配種」ともいわれる、一代に限って優秀な種のことです。これは、種苗会社が品種や個性の違ったものをかけ合わせて作った種で、両親それぞれの良いところを受け継いでいます。

そのため、量がたくさん獲れる上に、病気に強く、品質にむらがないので、色々な野菜づくりに活かされており、現在つくられているほとんどのタマネギも、この「F1」種が栽培されています。

「YES!clean」の認証

「YES!clean（北のクリーン農産物表示制度）」とは、農薬や化学肥料の使用を削減した「クリーン農業技術」を導入し生産された農産物について、北海道が認証する制度です。

道内で生産し、北海道の登録基準に適合したものだけが認証される、より安全・安心を追求したおいしい北海道産農産物の証明です。



出荷先

北はやて2号 ～ 全国

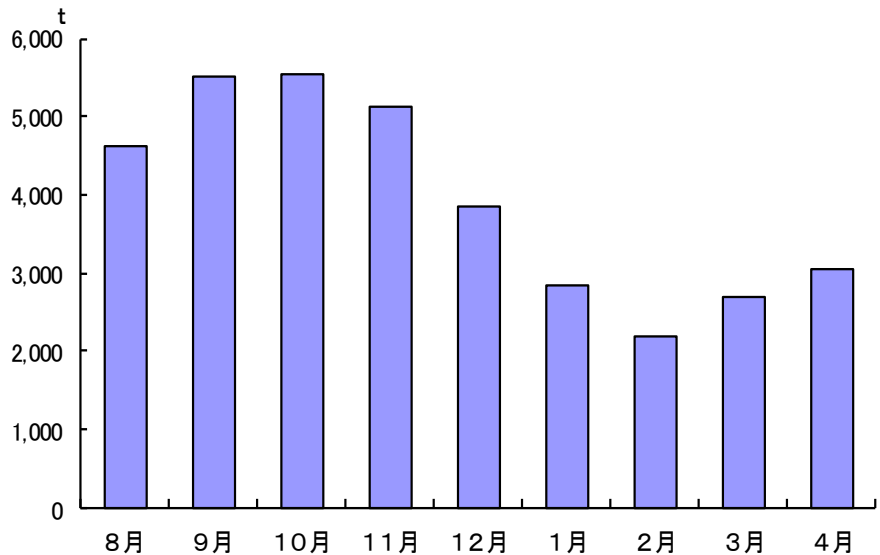
パレットベア ～ 全国

オホーツク222 ～ 全国

北もみじ2000 ～ 全国

スーパー北もみじ ～ 全国

月別出荷状況



Aコープでの販売時期

販売時期	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			

販売時期であっても、天候等の事情により収穫ができず、店頭に並べることができない場合がありますのでご了承ください。